

## パブリックコメント手続きの詳細

◆対象事案名

「 大川市第6次総合計画(案) 」

◆意見募集を行った期間

令和元年10月 1日(火) ～ 令和元年10月15日(火)

◆対象事案の最終的な意思決定日

令和元年12月13日(金)

計画を策定

リンク; <http://www.city.okawa.lg.jp/s006/010/030/010/050/20200519135145.html>

◆対象事案への意見数

19件

◆提出された意見の趣旨とそれに対する市の考え方

	提出された意見	それに対する市の考え方
	基本構想について口	(企画課)
1	<p>大川市の目指すべき方向として、「ずっと大川 ずっと大川」では、力強さに若干欠けるのではないのでしょうか。</p> <p>※住み慣れた地域で市民が助け合い支え合いながら安心して幸福に暮らし続ける社会づくりを目指す意味では理解できるのですが、大川市民に対して誇りと希望を持たせるような表現 例えば、 「木工業日本一のまちづくり」 「日本一の福祉のまち」 といった特徴的なアピールするようなものが望ましいのでは。</p>	<p>本計画は、基本構想の1ページ目にも記載しておりますが、第6次総合計画における大川市の目指す将来のまちの姿を実現するために、本市に「暮らす人」「訪れる人」「働く人」「学ぶ人」がこれからも、『「住み続けたい」「何度も訪れたい」「働きたい」「学びたい」と思えるまち』を目指すための将来像として、「ずっと大川 ずっと大川」と設定しており、持続可能なまちづくりに努めてまいります。</p>
	全体的な文言修正について (基本構想・基本計画)	(企画課)
2	<p>基本構想 1 まちづくりビジョン(P.1) ①図式の中に「共働」を入れる</p> <p>②10行目「協働」を「共働」に文言修正する。 【基本分野】行政経営(P.10)中の「協働」を「共働」に文言修正する。</p> <p>③説明文2行目「これからのまちづくりは複雑化する社会…」の「複雑化」の前に「多様化・」を追記する。</p>	<p>①大川市では、第6次総合計画において、「SDGs」の視点からまちづくりを推進していくこととしており、本ページに記載しております「創造」「共生」「共創」については、それぞれSDGsの視点にある「経済」「社会」「環境」と関連しておりますので、まちづくりビジョンの図式につきましては、このSDGsの視点に対応する形で記載しています。</p> <p>②また、「協働」につきましては、総合計画をご覧になる方に解りやすい表現であるとともに、「同じ目的のために対等の立場で共に働くこと」という意味があり、「自治体と市民」の関係性を鑑みて、「協働」が適切であると考えておりますので、原案の通りといたします。</p> <p>③ご指摘の通り対応します。</p>

3	2 ビジョン実現に向けた基本的な考え方 3. SDGs17のゴール(目標)と意味について (P.4)	(企画課)
	①表の左側にあるSDGsアイコンに記載されている文言(タイトル)が小さくて分かりづらいので、右側部分に同じ文言(タイトル)を記載したらどうか。	ご指摘の通り対応します。
4	2 ビジョン実現に向けた基本的な考え方 6. まちづくりビジョンにおける分野と基本目標 図式内の「基本目標3」について	(企画課)
	「都市を『共創』するまち」の「都市」の後に「空間」を追記する。 【基本分野】環境(P.9)についても同様。	ご指摘の通り対応します。
5	3 基本分野における取り組み 5. 総合戦略について	(企画課)
	新たに(5)災害に強いまちづくり ★①防災・減災・強靱化 を設定したらどうか。行政の最大の目標は市民の生命・身体・財産を守るという視点から。 ※8頁の(4)の再掲になるかもしれませんが。	「減災」や「強靱化」については、市としても十分に認識をしているところですが、ご意見にもあるとおり、(4)の中に「防災」の項目を設定しており、こちらの表記のままで対応し、原案の通りいたします。
6	現在の大川市の課題について	(企画課)
	現在の大川市の課題については、「雇用の場の創出」「人口減少の阻止」「空き家対策」「少子高齢化対策」「安全・安心なまちづくり」と考えます。 これらの課題解決に向け「自助」「互助」「共助」「公助」の視点からの考え方もしっかりと盛り込むべきと考えます。	大川市の課題といたしましては、多くの課題が山積する中で、「自助」「互助」「共助」「公助」の視点は必要であると認識しておりますので、ご指摘の点については文言を追記することで対応し、持続可能なまちづくりに取り組んでまいります。
7	課題の解決に向けては、市民の皆さんにも「共有し情報の提供」→「共感(そうしなければならぬと思ってもらおう)」→「共働(共に行動しよう)」→「共創(共に汗を流して創造する)」という流れをしっかりと周知することも必要ではないでしょうか。	(企画課)
		前記の考え方と合わせて、「SDGs」の周知を行うことで、市民への普及啓発に取り組み、まちづくりビジョンの市民への理解を促進してまいります。
8	「達成する目標」について	(企画課)
	①基本計画における「達成する指標」の設定内容がこのようなものでよいのか。	「達成する指標」については、総合計画の更新時期である2024年度に目標値を定め、できるだけ毎年事業の進捗や効果について検証可能な指標の設定を行っておりますので、原案の通りいたします。
	②10年後、20年後を考えると「空き家対策」は最大の問題となる。早急に対応策を盛り込むべきと考えます。	ご指摘の点に関しましては、基本計画の「3 環境(3)生活環境の充実 ①住環境」(P.58)におきまして、【主 な取り組み】◇空き家・家屋の適正管理の推進として盛り込んでおり、原案の通り空き家対策に取り組んでまいります。

9	<p>基本計画について 1 経済(1)産業の振興と活性化 ③★観光振興・地域交流(P.6)</p> <p>【主な取り組み】 ◇観光PRの推進と受け入れ環境の整備の3行目 「大川市観光・インテリア情報ステーション「大川テラツツァ」における・・・高めます。」という内容について、「大川テラツツァ(大川観光協会)」が大川市観光・インテリア情報センターの中心的拠点であれば、案内体制の充実、観光ガイドの育成能力向上の取り組みでは弱い。最大の情報発信基地としての体制の強化を図るべき。</p>	<p>(インテリア課)</p> <p>ご指摘の点について、市といたしましてもその必要性は十分に認識しております。その点も含めまして、今回は観光振興に関する「事業の取り組み」として計画に記載をいたしております。</p>
10	<p>(3)環有明海地域の連携と活性化 ①★広域的産業・観光振興の連携強化と拠点づくり(P.9)</p> <p>【主な取り組み】 ◇「大川の駅」の整備・推進の文末に「また、三丸公共用地(整備推進を図り)との連携による産業振興及び観光振興を促進する。」と文言を追記。 (県内外の来客者を呼び込むためには、両者の連携は必要)</p>	<p>(大川の駅推進室)</p> <p>ご意見でございます三丸公共用地の整備推進につきましては、その内容、活用方法について不確定な要素があるため、市の計画である総合計画への「大川の駅との連携」といった記載を控え、原案の通りといたします。 頂いたご意見については、貴重なご意見として参考とさせていただきます。</p>
	<p>2 社会(2)学校教育(P.12)</p> <p>最近のネット情報(東京の都立大学と東京大学の話)『ハイレベルな生徒の「都心回帰」』『有名進学校の盛衰には、実は街の盛衰の歴史が隠されている。最近ではマンションを選ぶ際、地元の小学校の良し悪しを徹底的に調査する親が多いという。街選びは学校選びの時代になっているのだ。』(牧野知弘氏 令和元年10月8日) この記事を読んだとき、わが大川市の進むべき道が見えた気がした。わが大川市は、すでに倉重市長、記伊教育長のもとで教育行政を主に力を入れている。その先見性や実行力は極めて素晴らしい。しかしながら、このたび作成する上記総合計画等としては(小中学校の全国学力テストの成績が「全国平均を上回る」では)あまりにも目標が緩すぎると思った。 具体的には、小中学校の成績は、(福岡県・いやもっと野心的に)全国トップをめざしてほしい。『大川らしさは、(家具に象徴されるように)日本一らしさである。』 そのためには、(たとえば林修先生のような)スーパーティーチャーを大川市独自に入れて、スーパー高校(明善高校等)に合格者を大量に創出するようなスーパー中学校・スーパー小学校を創り出してほしい。そして、今まで以上に『子育て世代に選ばれる大川市』となしてほしいのである。ふるさと納税などを活かしてそうなるように持って行けないか? 現在大川市内には高等学校が大川樟風高校しかないが、難関国立</p>	<p>(学校教育課)</p> <p>達成目標設定について、「小中学校の成績目標が低いのではないか」「小中学校の成績は全国トップを目指してほしい」とのご意見だと思えます。 大川市の全国学力調査の得点については、現時点(2018年度)では小中学校ともまだまだ全国平均を下回っている状況であり、目標年度である2024年度(5年後)の目標値として目標達成の可能性のある「全国平均を上回る」といたしました。 「取り組みの方向性」や「主な取り組み」にも記載しておりますが、「知＝確かな学力」の向上に加え、「徳＝豊かな心」や「体＝健やかな体」も同時に育み、バランスの取れた教育を推進することにより、生涯学習時代に生きるための基礎基本である「たくましくしなやかに生きる力」を身につけた子どもを育成することといたします。 さらに、令和2年4月には大川桐英中学校、大川桐薫中学校が開校します。これを大川市の教育改革のチャンスととらえ、小・中学校の授業交流や生徒指導の早期対応などの「小・中一貫型教育」を進めるとともに、多様かつ複合的な教育ニーズへの支援、伝統文化・ふるさと学習、キャリア(生き方)教育の推進など、新時代を見据えた教育環境の整備を図ってまいります。 これらの施策を総合的に進めながら、ご提案の「子育て世代に選ばれる大川市」を目指してまいります。</p>

11	<p>大学をめざすには非常に厳しい現状だ。</p> <p>スーパー小中学校が大川市の生涯教育政策につながり、『どんなに何も持っていなくても大川市の教育政策ですべての大川人を日本一の人財に！』となっていけば、大川市がさまざまなところから選ばれる時代が必ずやってくると私は確信している。</p> <p>教育は小中学生だけではなく高齢者も大変必要である。生きがい・やりがい・そして高齢者の収入アップ(就職支援のための高齢者教育・生涯学習)ができれば、高齢者自身が安心して生活できるだけでなく大川市の年収アップにもつながる。人口の半数超を高齢者が占める未来であれば、高齢者の収入増は大川市の収入増に直結する。</p> <p>令和2年度の国際医療福祉大学薬学部キャンパスの大川市設置は非常に価値が高いと思う。全国の薬学部でも偏差値50そこそこで入学できて国家試験No.1の合格率は大変驚異的というほかない。(通常は最低ラインでも偏差値60前半は必要な学部学科だ。)この勉学のノウハウと異なるかもしれないが、『大川市内の学校に来れば就職も進学も安心』となればおのずと人は集まってくると思う。その代わり、入学後の厳しい勉学の試練はあるのだが。</p> <p>余談になってしまうが、まち・ひと・しごと創生総合戦略の中身で、2060年の大川市の推計人口が16000人。これほど人口が少なくなると誰が想像できたであろうか？私個人的に非常に大きな衝撃を受けた。我々の子どもたちに残す大川市が絶対にそのようになってはならない。私も、一人の大川市民として、がんばらなければならない。何が何でも。</p> <p>私のような愚か者の戯言であります。どうかご参考にしてくださいませ。お読み取りいただき、ありがとうございました。</p>	
12	<p style="text-align: center;"><b>2 社会</b> (2)健康・保健・福祉の充実 ①地域福祉(P.16)</p> <p>【主な取り組み】 ◇地域福祉活動の拠点づくりの1行目から2行目 「…既存施設の活用と市民利用の促進を図ることで…」の市民利用の前に「空き家や空き店舗を活用した「居場所」づくりを進め」の文言を追記。</p>	<p style="text-align: center;">(福祉事務所)</p> <p>ご意見の内容につきましては、「みんなで支え合う共生のまちづくり」の実現に向けて、考えなくてはならない内容であると認識しておりますが、「空き家の利活用」や「地域における高齢者の居場所づくり」など、具体的な事業内容となりますので、総合計画での記載は控えさせていただきます。原案の通りといたします。</p>
13	<p style="text-align: center;">②★高齢者福祉(P.17)</p> <p>【取り組みの方向性】 ①1つ目の○の3行目 「地域包括ケアシステムの構築及び充実…」の「構築」を「推進」に変更したらどうか。地域包括ケアシステムについては、構築の段階はとうに過ぎている。</p>	<p style="text-align: center;">(健康課)</p> <p>市といたしましては、地域包括ケアシステムについては、高齢者のみではなく地域全体に広がっていくべきものであり、現段階ではまだ「構築」が適切であると考えておりますので、原案の通りといたします。</p>

	<p>②【主な取り組み】全体について、取り組みの方向性はよいが、主な取り組みが内容的に弱すぎる。「大川市長寿社会対策総合計画」の重点項目を再検討すべき。【達成する目標】についても、このような内容で良いのか。</p>	<p>取り組みの内容につきまして、総合計画においては各分野の大きな方向性や取り組みを記載しており、具体的な施策の内容等につきましては、「大川市長寿社会対策総合計画」において明記しておりますので、指標も含めて、今回は原案の通りといたします。</p>
	<p>(3)市民生活の充実 ③生涯学習・文化芸術・スポーツ</p>	<p>(生涯学習課)(P.24)</p>
14	<p>【達成する指標】について、「旧吉原家住宅の年間入館者数」の現況値及び目標値が適切であるのか。 ②他に達成する指標は検討されないか。</p>	<p>「主な取り組み」に対応する各指標の設定にあたっては、様々な面から検討を行っているところです。ここでは、文化財の活用としての施策に対応する指標として「旧吉原家住宅の年間入館者数」を掲げています。その理由として、重要文化財である旧吉原家住宅の公開活用を進めることが多くの市民・来訪者に本市の歴史・文化・産業などを知ってもらうことに繋がります。このようなことから、「旧吉原家住宅の年間入館者数」を指標とするのが適切であること、また、入館者数につきましても近時の入館者数の状況をみながら設定しているため、原案の通りといたします。</p>
	<p>(4)安全安心なまちづくりの推進 ①★防災(P.27)</p>	<p>(地域支援課)</p>
	<p>①【取り組みの方向性】について、防災だけの視点ではなく「減災(災害予防)」にも重点を置くべき。</p>	<p>ご意見の内容につきましては、市といたしましても、まちづくりにおいて重要な課題であると認識をしているとともに、「防災＝減災」という捉え方をしておりますので、重点項目として「防災」を総合戦略においても内容を入れ込むこととしております。</p>
	<p>②【主な取り組み】について、「◇防災対策・危機管理専任部署(課長級)の設置」という項目を追加してほしい。</p>	<p>ご意見の内容につきましては、今後防災・危機管理対策を進めていく中で、市の組織として検討を行っていくべきものであると考えます。また、その他の課題も含めて総合的に検討を行う必要がある事項でありますので、今回の総合計画で明記することは控え、原案の通りといたします。</p>

15	<p>③災害指定病院や緊急避難所を大川市で指定しているのであれば、その施設名を明記してください。</p>	<p>災害拠点病院(災害発生時に地域の救急医療の中核をなす大規模病院)は大川市にはありませんが、久留米市に2院あります(久留米大学病院、聖マリア病院)。「指定緊急避難場所」については、大川市内で該当する施設は以下の9施設です。</p> <p>6コミュニティセンター(大川、三又、木室、田口、川口、大野島)、及び3小学校校舎(宮前、道海島、大野島)。対象となる災害は、洪水、高潮、地震、津波、内水氾濫です。</p> <p>※災害拠点病院とは 平成8年に当時の厚生省の発令によって定められた「災害時における初期救急医療体制の充実強化を図るための医療機関」で、次のような機能を備えた病院です。</p> <p>① 24時間いつでも災害に対する緊急対応でき、被災地域内の傷病者の受け入れ・搬出が可能な体制を持つ。</p> <p>② 実際に重症傷病者の受け入れ・搬送をヘリコプターなどを使用して行うことができる。</p> <p>③ 消防機関(緊急消防援助隊)と連携した医療救護班の派遣体制がある。</p> <p>④ ヘリコプターに同乗する医師を派遣できることに加え、これらをサポートする、十分な医療設備や医療体制、情報収集システムと、ヘリポート、緊急車両、自己完結型で医療チームを派遣できる資器材を備えている。</p>
16	<p>基本計画について 3 環境(1)環境保全の推進 ①自然環境の保全</p> <p>【主な取り組み】 ◇公害対策・不法投棄対策の推進 「自然環境汚染に対する監視の強化」について、具体的にどのようなことを行うのでしょうか。</p>	<p>(環境課)(上下水道課)(地域支援課)</p> <p>監視パトロールは随時行っているところであり、野焼きの情報提供をいただいた場合には、ただちに現場確認後、直接行為者に指導を行います。また、その他の公害対策については、県などとも連携して行為者に対する指導を行っています。</p>
17	<p>3 環境(1)環境保全の推進□ ②★景観・まち並みの保全(P.31)</p> <p>【主な取り組み】 ◇歴史的資源やまち並みの保全 2行目「修理や修景に対する補助など…」の「補助」の後に「や県指定文化財緒方家住宅の再整備」と追記できないか。 【達成する指標】 「旧吉原家住宅の年間入館者数(再掲)」について、他に達成する指標は検討されないか。</p>	<p>(生涯学習課)(企画課)</p> <p>本計画では、各分野における事業の大きな方向性や取組みについて記載を行っております。その中で、ご意見の内容も全体的に現在の記載に含まれており、個別の記載は控え、原案の通りといたします。</p> <p>また、歴史的資源やまち並みの保全による、景観の維持と観光資源としての活用に取り組むことで、来訪者の増加や歴史的価値の再認識につながると考えております。その中で「旧吉原家住宅の年間入館者数」の増加が指標に適していると考えておりますので、原案の通りといたします。</p>

	<p>基本計画について  3 環境(3)生活環境の充実  ④上下水道  【主な取り組み】  ◇安全な水道水の供給  ◇上水道施設の維持管理</p>	<p>(地域支援課)(上下水道課)</p>
18	<p>①水道管本管の老朽化(対応年数超過)に伴う更新計画について、どのようにお考えでしょうか。  (対応年数は何年か。)  (全体の本管延長はどれくらいか。)  (そのうち対応年数を超過した延長はどのくらいか。)  これらの目標値も明確にしていきたい。</p>	<p>ご意見の内容につきましては、平成29年度に策定の「大川市上水道事業経営戦略」を基に水道施設(管路)更新計画を策定し、老朽管対策並びに耐震化に努めてまいりたいと考えており、個々の目標値につきましては「上水道施設の維持管理」に含めた内容としておりますので、今回の総合計画で表記することは控え、原案の通りといたします。なお、以下にお尋ねの数値についてご回答いたします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・配水管の法定耐用年数は40年。</li> <li>・送・配水管の延長は約214km・・・(平成30年度末)</li> <li>・40年経過の送・配水管延長は約61km・・・(平成30年度末)</li> </ul>
	<p>②各都市ではこの更新に必要な工事費の財源の確保が大きな問題となっていることは当然理解されていると思いますが、これについてどうお考えでしょうか。どのような対策をお考えでしょうか。</p>	<p>ご意見の内容につきましては、市としましても十分に認識をしており、基本的な取り組み内容等については「大川市上水道事業経営戦略」において明記しており、需要予測を行い財源確保に努めてまいります。</p>
	<p>③財源確保のために、水道料金を上げることで対応するように考えているのであれば、今後の上昇率についてお聞かせください。  ※5年後・・・〇〇%等  10年後・・・〇〇%など</p>	<p>ご意見の内容につきましては、現状では5年後、10年後の料金上昇率は未定ですが、前記と同様「大川市上水道事業経営戦略」において検討内容を明記しておりますので、今回の総合計画で表記することは控え、原案の通りといたします。</p>
	<p>④管路の耐震化を明記されていますが、全体延長のどれくらいが現在耐震化されているのか伺いたい。</p>	<p>ご意見の内容につきましては、「上水道施設の維持管理」に含めた内容としておりますので、今回の総合計画で表記することは控え、原案の通りといたします。以下にお尋ねのご意見についてご回答いたします。管路の耐震適合率とは、地域の地盤の状況によって求められる耐震性能を備えた継手構造となっている管の割合のことです。大川市の地盤では、ダクタイル鋳鉄管(NS形・GX形等)、水道配水用ポリエチレン管、溶接構造の鋼管等があります。送・配水管布設延長約214kmの内、約13kmが耐震適合管であり、耐震適合率は約6.0%となります。</p>

	<p>⑤大川市内には、大きな病院や緊急避難所があると思いますが、そういった施設が災害により断水になることは大いにあると思いますが、それに対する対応や対策についてお聞きしたい。</p>	<p>地震や洪水により一時的に断水した場合は、市上下水道課が給水を災害対応として行います。水道管の破裂等についての復旧対応については、市上下水道課と大川管工事業協同組合がライフライン関係(病院)や避難所等への給水のための復旧を迅速に行います。飲料水の応急供給については、車両による運搬給水を基本とし、重要給水施設が断水した場合は、県、企業団及び構成団体などへの応援要請により給水車等を配置することと考えております。基幹病院等における重要給水施設への配水管の耐震化に関する補助事業などにより、配水管更新の取り組みを検討していかなければならないものと考えております。</p>
19	<p>4 行政経営(3)市民との協働 ①市民(地域団体・NPO・民間事業者等)との協働(P.44)</p>	<p>(地域支援課)(企画課)</p>
19	<p>①【取り組みの方向性】について、NPOやボランティア団体、自治組織など非営利団体の窓口となる体制の強化を図るべき。</p>	<p>ご意見の内容につきましては、今後市の組織として検討を行っていくべきものであると考えます。頂いた意見については参考とさせていただき、各関係団体等とともに多岐にわたる様々な取り組みに対して支援を行うなど、協働・連携に努めます。</p>
19	<p>②【主な取り組み】 ◇支援の窓口となる部門の設置(市民公益活動推進課)を追記してほしい。 ※大川市は、医療施設、介護施設も充実し、各地域で実施されている介護予防・認知症予防活動も活発であり、さらにこれらの連携強化と事業の推進を図るため、このことが介護費、国民健康保険料の負担軽減にも寄与できる。</p>	<p>ご意見の内容につきましては、前記14においても同様の回答をいたしましたとおり、今後市の組織として検討を行っていくべきものであると考えます。また、その他の課題も含めて総合的に検討を行う必要がある事項でありますので、今回の総合計画で明記することは控え、原案の通りといたします。</p>

◆担当課(問い合わせ先)

大川市役所 企画課 企画・女性政策係  
Tel; 0944-85-5553  
Fax; 0944-88-1776  
E-Mail; okwjosei\_k@city.okawa.lg.jp